

## カンボジア国コンポントム小学校教員養成校（PTTC）における学生に対する指導力向上支援事業

### プロジェクトレポート～2022年度～

1年目の2022年度は、2回の専門家派遣（6月・2月）と訪日研修（10月）を実施しました。1年目は主にIBL(Inquiry-Based-Learning・探究の学び)の概念を伝えるため、専門家の先生にセミナーやワークショップ、また、模擬授業を開催していただきました。同時に、日本側もカンボジア現地の小学校の授業や施設を見学し、また、現地教員らとの話し合いを重ね、カンボジア国の教育、教育環境について学びました。訪日研修では、10名(PTTC教官9名・PTTC附属小学校教員1名)の研修員が来日し、神戸市内、兵庫県内の小学校を訪問し、授業を見学しました。

#### ■第1回専門家派遣（2022年6月）

IBL（探究の学び）について、日本の教育史からどのように日本がIBLを取り入れてきたのか、また、生徒が発言したら大げさに思えるほど褒めるなどの、「教える」上で大切なポイントについてのセミナーを専門家が行いました。

また、PTTC附属小学校で実施した体育の模擬授業では、何回も練習する体育ではなく、話し合いや、動画の視聴など新しい試みを取り入れました。模擬授業後は、良かった点・改善点をみんなで話し合いました。また、カンボジア国教育局（TTD）を訪問し、本事業への協力を依頼しました。



《TTDでの打合せ》



《体育の模擬授業》



《専門家によるセミナー》

#### ■第2回専門家派遣（2023年2月）

PTTCで理科やクメール語の授業を見学しました。また、PTTCの教育実習生による模擬授業を見学しました。クメール語の授業では手を叩きながらリズムに合わせて音読する様子が見られ、児童が楽しく、かつ正確にクメール語を学べるように授業を工夫している様子が窺えました。派遣中には、専門家がPTTC附属小学校で算数と英語の模擬授業を実施しました。模擬授業では、クラスの大多数の児童が積極的に参加してくれたものの、専門家は1クラス50人以上の児童に教える難しさを実感しました。模擬授業後の話し合いの場では、改善点について活発な議論がなされました。専門家によるセミナーも開催しました。



《授業後の話し合い》



《専門家による模擬授業》



《セミナーの様子》

#### ■第1回訪日研修（2022年10月）

PTTCの教官9名、PTTC附属小学校の教員1名が来日し、神戸市の小学校2校と兵庫県内の小学校1校で授業見学・施設見学・日本の教員との意見交換会を行いました。その他、神戸市外国語大学を訪問し、教育施設を見学するとともに、専門家と大学生によるワークショップを受けました。兵庫教育大学にも訪問し、大学の授業の学生の様子を見学しました。この訪日研修では、来日した多くの研修員が、児童が授業中に活発に発言する様子や、教員と児童が対話を重ねる様子に感銘を受け、カンボジアでも実践したいと意欲を見せて帰国の途につきました。



《授業見学》



《ワークショップの様子》



《集合写真》